

2008年6月

【環境施設取材のご案内】

エコなホテルの注目度、上昇中！！

地球環境に配慮したエコロジーなラグジュアリーホテルの挑戦

～CO₂排出量 28%削減からの更なる挑戦～

日本が議長国となる北海道洞爺湖サミットの開幕まであとわずかとなりました。今回のサミット最大のテーマが「気候変動問題」です。ホテルニューオータニは、「ホテル」として実現可能な地球環境への配慮に、1964年の開業当初から取り組んでおり、昨年10月の「ザ・メイン」(本館)のリニューアルにより、CO₂排出量の28%、エネルギー使用量では22.7%の削減を見込んでおります。特に、「地球環境への配慮がお客様の真の快適さにつながる」という考えから、『ハイブリッドホテルプロジェクト』(3頁をご参照ください)を立ち上げ、「サービス&快適性の更なる向上、エネルギー消費量の50%減」を目標とし、地球環境に配慮したホテルとして進化し続けています。

昨今、当ホテルのエコへの具体的な取組みに関して、多くのお客様や企業からの問い合わせが急増しています。ラグジュアリーで快適な居心地でありながら、他に比べて使用するエネルギーやCO₂の排出量を抑えた「環境に配慮しているホテルだから」と、企業としての出張利用の宿泊先としてはもとより、ウエディングのような特別な日にも、当ホテルを選ぶお客様が増えています。こうした高まる社会のニーズに応え、今後も「環境・安全」そして「快適性」を高め、ラグジュアリーホテルとしての挑戦を続けていきます。



紫外線を50%カット「フルハイトウインドウ」 空調システム「AEMS」導入後の客室

屋上緑化の一環、「ローズガーデン」では、中水を利用して約30種類の赤いバラ約2,000株が咲き誇ります

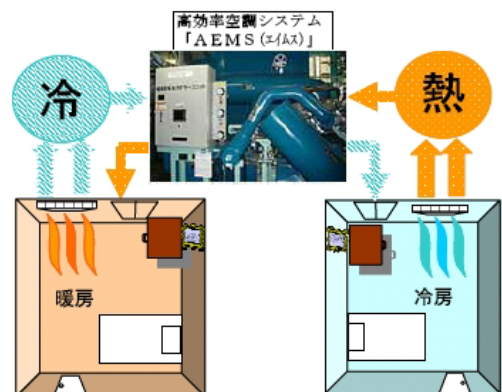
<ホテルの環境への主な取組み(一例)>

I. CO₂削減・エネルギー高効率利用システム

空調システム「AEMS(エイムス)」:

体感温度には個人差があり、暑くて冷房を付ける方がいる一方で、暖房をご利用になる方もいます。こうして使用される冷暖房機器から生じる排熱エネルギーを、それぞれのお部屋の空調に、相互に効率的に利用するため、空調システム「AEMS」を独自に開発しました。現在、ザ・メイン全室643室に導入しています。

このシステムを動かすヒートポンプが、CO₂削減に大きく寄与します。部屋ごとの細かい温度・風量設定、更にはチェックイン/アウトに連動して空調稼働を行うことで、客室の空調エネルギー、CO₂排出量の削減を実現しています。

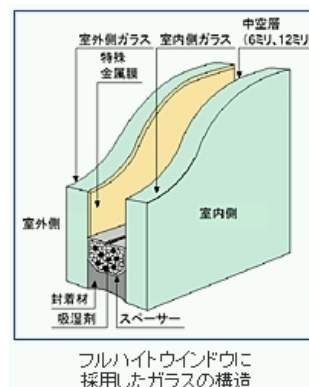


オール電化厨房システム:

ザ・メイン最上階の「VIEW & DINIG THE Sky」では、厨房をオール電化システムにすることで、熱の排出を減少し、総エネルギーの 14.1%、CO₂排出量の 29.8%の削減を見込んでおります。

熱・紫外線を 50%カットする「フルハイトウインドウ」:

天井から足元まで、全面がガラス張りとなった、「フルハイトウインドウ」をザ・メイン全館に導入しました。このガラスは「エコガラス」とも言われ、2枚のガラスが乾燥した空気を挟み込む 3 層構造となっています。片方のガラスの内側には特殊金属膜がコーティングされ、屋内外の温度伝達を抑え、冷暖房の負荷を大幅に減らします。このガラスにより、熱伝導と紫外線を約 50%カットすることができました。



II. 生ゴミ・水リサイクルシステム:

1日 5t の生ゴミを 100%リサイクルする「コンポスト・プラント」:

ホテルから出る 1日約 5t もの生ゴミ(食べ物、生花など)は、ガーデンタワー1階に設置した「コンポスト・プラント」で乾燥、発酵させ毎月約 30t の普通肥料を生産しています。その後、堆肥工場で二次発酵させた堆肥の一部を、茨城県の契約農家で米の栽培に使用し、収穫された米「おおたに こしひかり」をホテルの社員食堂などに提供しています。残りの堆肥も農家で利用され、そこで生産された野菜などの一部をホテルが購入しています。このリサイクルシステムの導入により、生ゴミの 100%リサイクルを実現すると同時に、年間で 3,400 万円の生ゴミ焼却処分費が削減されました。



ガーデンタワー1階に設置された
「コンポスト・プラント」



「おおたに こしひかり」

1日約 1,000t の厨房排水を再利用する「中水造水プラント」:

厨房から出る 1日約 1,000t の排水から、「中水造水プラント」でゴミを除去し、タンパク質や油分を微生物で分解することで、最大 600t の中水を作り出します。この中水は、ホテル内のローズガーデンを始めとする敷地内の灌水、バックスペースのトイレの洗浄、洗車などに活用しています。水道水の利用を大幅に削減し、川や海といった自然への負荷低下に貢献しています。



<ハイブリッドホテルプロジェクトとは>

2005年11月から2年をかけて進めたプロジェクトで、「ハイブリッド」が意味するように、耐震性の強化などによるお客様の安全性の向上や地球環境に与える負荷を減らすことと、お客様の快適性の両立を目標にした取り組みです。

1964年に東洋一の規模として開業したホテルニューオータニは、ラグジュアリーでありながら、地球環境にも配慮したホテルを目指してきました。現在では、客室数1,479室、1日の当館利用者平均、1万5,000人という“複合型コミュニティ”として24時間活動を続けています。小さな都市ともいえる当ホテルを、1つの都市モデルにとらえ、循環型社会の実現のため、様々なシステムを導入してきました。



2007年10月の、総工費100億円を投じた「ザ・メイン」(本館)リニューアル時には、CO₂の削減・エネルギーの高効率利用のため、独自に開発した空調システム「AEMS(エイムス)」を導入しました。また、壁全面ガラス張りの窓「フルハイトウインドウ」に替えたことで、眺望が一新しい事と共に、熱や紫外線を50%カットしています。同時に、屋上の緑化も進めており、快適性と環境保全の両立へ今後も挑戦し続けていきます。

上記の設備・施設はいずれも、ホテルニューオータニ内にございます。取材をご希望の方は、お気軽に下記の連絡先までご連絡ください。

本件に関する詳細資料もご用意しておりますので、下記までお気軽にお問合せください。

ホテルニューオータニ
マネージメントサービス部 広報担当
電話 03-3221-2631、FAX 03-3239-2629
〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町 4-1
<http://www.newotani.co.jp/tokyo>